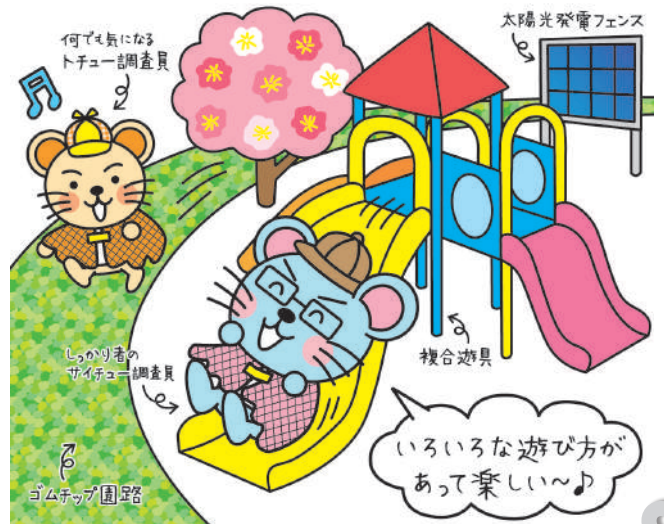


トチュー サイチュー 途chu最chu のチュ目案件

04 大きな公園誕生の件

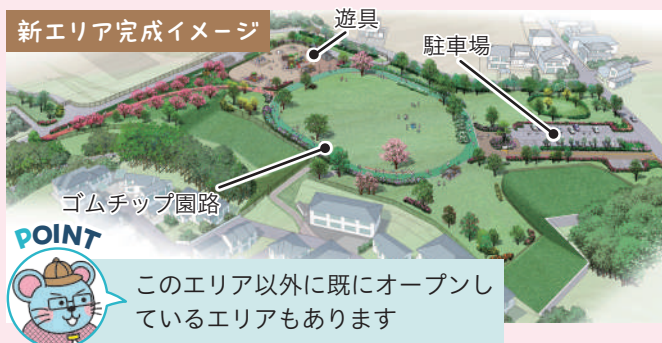
布施地域にある最終処分場の跡地で、なにやら大きな公園をつくる工事が進められているようです。大型遊具や季節の花々など、ワクワクポイントを完成前にお知らせします。



地域の思いが詰まった公園

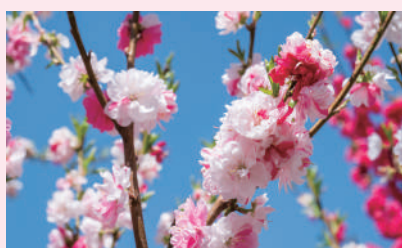
市立柏病院のそばにある、最終処分場としての役目を終えたこの場所の跡地を活用して、緑あふれる新しい公園が誕生する予定です。このうち遊具を設置するエリアが、来年春ごろのオープンを目指して現在工事中。既に開放しているエリアを含めた全体の広さはおよそ7.8ヘクタールで、なんと東京ドーム1.7個分です。

きっかけは、この広い土地を公園として有効活用してほしいという、地域の声だとか。多くの人の思いが詰まった公園になりそうです。



いつでも行きたくなる みんなに優しい公園

新エリアをぐるっと回れる園路は、1周250メートル。小さな子どもから高齢者まで足腰をいたわりながら歩けるよう、クッション性のあるゴムチップ舗装をします。また、緑や季節の花が公園を彩り、四季折々の景色を堪能できます。春が訪れる頃には、園路沿いにハナモモの木が咲き連なる「ハナモモロード」も楽しめるので、毎日の散歩やジョギングの足取りが軽やかになりそうです。



3月ごろに見頃を迎えるハナモモ

4周走ればちょうど1キロメートルだね！



遊び方はいろいろ！ 大型遊具も登場

工事現場をのぞいてみると、地盤を整える工事をしていました。この場所に、幅広い年齢の子どもが楽しめる、多種多様な遊具が設置されるそうです。滑り台などが付いた複合遊具や、ロープを登るジャングルジム、ターザンロープなど、ワクワクする仕掛けがたくさん！ 障害の有無にかかわらず、みんなで安心して使えるインクルーシブな遊具も整備されます。登って、くぐって、滑って——体をたくさん動かしながら遊べそうです。



遊具の基礎を設置



インクルーシブな遊具



ロープのジャングルジム

太陽の力も借ります

さらに創エネの取り組みとして、園内に設置する太陽光発電でつくった電気を、トイレに活用するんだそう。太陽光の設備は日が差す角度を考慮し、屋根ではなく、フェンス型のパネルを設置。環境にも配慮した公園なんですね。

広い芝生や木々の緑・花、遊具に囲まれながら、皆さんはどのように過ごしたいですか。オープンが今から待ち遠しいですね。



フェンス型が珍しい太陽光発電パネル

【問い合わせ】 清掃施設課 ☎7196-7388 ・FAX 7163-3728